



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社オークネット 上場取引所 東
 コード番号 3964 URL <https://www.aucnet.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長C00 (氏名)藤崎 慎一郎
 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)谷口 博樹 (TEL) 03(6440)2552
 問合せ先責任者 コーポレート部門DM
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	18,611	78.7	3,515	98.8	3,718	106.3	2,383	125.0
2020年12月期第2四半期	10,416	4.6	1,768	32.9	1,803	36.5	1,059	60.6

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 2,546百万円(153.3%) 2020年12月期第2四半期 1,005百万円(28.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	85.95	85.25
2020年12月期第2四半期	38.33	37.99

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	38,142	21,955	56.7
2020年12月期	33,280	19,637	58.1

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 21,611百万円 2020年12月期 19,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	10.00	—	11.00	21.00
2021年12月期	—	19.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	36,655	52.2	5,600	51.1	5,756	58.0	3,471	83.0	124.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期 2 Q	27,917,100株	2020年12月期	27,863,500株
② 期末自己株式数	2021年12月期 2 Q	140,516株	2020年12月期	147,316株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期 2 Q	27,730,374株	2020年12月期 2 Q	27,641,633株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの影響により依然として厳しい状況が続きました。今後は、各種政策の効果により、持ち直しに向かうことが期待されますが、国内外での感染拡大や金融資本市場の変動等に関して予断を許さない状況が続いているため、引き続き感染拡大の防止策を講じつつ、動向を注視する必要があります。このような状況のなか、当社は、「あしたの流通を創造する」をブランドステートメントと掲げ、BtoBビジネスに係る仲介を行う情報流通のみならず、競争力のある付加価値を伴った商品及びサービスを提供する情報流通のための施策を推進し、社会的価値、経済的価値の更なる向上に努めております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は18,611,426千円（前年同期比78.7%増）、営業利益は3,515,918千円（前年同期比98.8%増）、経常利益は3,718,852千円（前年同期比106.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,383,490千円（前年同期比125.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープロダクツ事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントへ集約しています。

以下の前年同期比較につきましては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較していません。

(四輪事業)

当事業は、中古車オークション（※1）、共有在庫市場（※2）、ライブ中継オークション（※3）、落札代行サービス（※4）及び車両検査サービス（※5）等で構成されています。

当事業と関連の深い自動車業界では、当第2四半期連結累計期間の新車登録台数（※6）は、前年同期比11.6%増の246万台、中古車の登録台数（※7）は、同4.0%増の360万台、中古車オークション市場の出品台数（※8）は、同1.8%増の374万台、成約台数（※8）は、同14.7%増の252万台となりました。

業界におけるオンラインオークション・代行サービスの利用浸透に加え、半導体不足による新車の長納期化と中古車輸出の回復を背景に中古車需要が高まっていることから、供給不足の傾向が続いております。こうした状況下において、当社の中古車オークションでは、出品台数は前年同期を下回ったものの、成約台数は前年同期を上回る結果となりました。同様な理由から、共有在庫市場における成約台数も増加となりました。また、ライブ中継オークション及び落札代行サービスでは、リモートによる参加ニーズの高まりが継続したことで、落札台数が前年同期を大きく上回りました。これらの堅調な結果から、オークション関連売上は対前年同期比で12.1%増となりました。

さらに、車両検査サービスにおいても、第1四半期に引き続き外部向け検査台数が好調に推移し、業績の改善に貢献しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は（セグメント間の内部売上高を含む）6,194,323千円（前年同期比8.3%増）、営業利益は1,967,181千円（前年同期比17.5%増）となりました。

（※1）中古車オークションとは、当社が主催するオンラインで行う会員制のリアルタイムの中古車オークションのことです。

（※2）共有在庫市場とは、当社の会員ネットワークを活用し、会員が所有する中古車店頭在庫の情報を会員間で共有し取引する市場のことです。

（※3）ライブ中継オークションとは、当社が業者間取引の市場である現車オークション会場と提携し、現車オークション会場が主催するオークションを中継するサービスのことで、

（※4）落札代行サービスとは、株式会社アイオークが業者間取引の市場である現車オークション会場等に出品される中古車の落札・出品・決済・輸送の代行を行うサービスのことで、

（※5）車両検査サービスとは、株式会社AISが出品車両の検査及び車両検査技能に関する研修を行うサービスのことで、

（※6）一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料より

(※7) 一般社団法人日本自動車販売協会連合会統計資料及び一般社団法人全国軽自動車協会連合会の統計資料より

(※8) ユーストカー総合版+輸出相場版より

(デジタルプロダクツ事業)

当事業は、中古スマートフォン・中古PC等の中古デジタル機器のオークション及び流通に付随するサービスで構成されています。

国内事業では、在庫台数が堅調に推移したことや海外バイヤー網の拡大等の販路強化により、流通台数が増加し、端末単価も上昇いたしました。それに加えて、オペレーションの改善等の業務効率化、及びコストの見直しを行ったこともあり、当第2四半期連結累計期間の増収増益につながりました。また、中古PCオークションにおいても、依然として中古流通市場が堅調に推移しており、在庫台数、出品台数はそれぞれ前年同期を上回りました。

米国事業では、在庫台数、取引台数が前年同期を上回り、利益の赤字幅が縮小されています。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,923,776千円（前年同期比32.9%増）、営業利益は2,230,328千円（前年同期比82.3%増）となりました。

(コンシューマープロダクツ事業)

当事業は、ブランド品のオークション及び消費者向けを含む流通に付随するサービスで構成されています。

B2B事業では、業界へのオンラインオークションの浸透が進んだことから、オークション取引は好調に続いており、成約点数は引き続き増加傾向にあります。加えて相場高騰による成約平均単価の上昇もあり、オークション取扱高が大幅に増加しました。このような状況を受けて、当第2四半期連結累計期間における当セグメントは前年同期比で大幅な増益となりました。

昨年10月より株式会社ギャラリーレアを連結に加えたことで、小売販売にかかるC向け事業売上高が計上されたことにより、セグメント売上高は前年同期比で大幅な増加となった一方、セグメント利益率は相対的に低下することとなりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は6,916,818千円（前年同期比1,066.2%増）、営業利益は649,884千円（前年同期比170.2%増）となりました。

(その他)

当事業は、中古バイク及び花きのオークション、システム開発及び提供、通信及び運営保守サービスの提供、中古医療機器関連事業、海外事業等で構成されています。

当第2四半期連結累計期間の売上高（セグメント間の内部売上高を含む。）は1,840,087千円（前年同期比24.6%増）、営業損失は86,627千円（前年同期は営業損失184,961千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて4,861,559千円増加し、38,142,382千円となりました。これは主に、現金及び預金が5,008,306千円、オークション貸勘定が385,266千円増加したものの、その他の無形固定資産が195,060千円、投資その他の資産が462,147千円減少したことによるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて2,543,293千円増加し、16,186,430千円となりました。これは主に、オークション借勘定が2,607,793千円、未払法人税等が224,702千円増加したものの、その他の流動負債が297,245千円減少したことによるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,318,265千円増加し、21,955,951千円となりました。これは主に、利益剰余金が2,076,994千円、その他有価証券評価差額金が138,208千円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて5,300,542千円増加し、20,744,692千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と、それらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は、5,031,849千円となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前当期純利益3,786,752千円、減価償却費372,198千円、オークション借勘定の増減額2,607,793千円であり、支出の主な内訳は、オークション貸勘定の増減額385,266千円、法人税等の支払額1,096,065千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により増加した資金は、282,565千円となりました。収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入380,000千円、投資有価証券の売却による収入577,024千円、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出410,000千円、有形固定資産の取得による支出200,949千円、無形固定資産の取得による支出112,544千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は、304,346千円となりました。これは主に、配当金の支払額306,365千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月11日に公表いたしました数値を修正しております。詳細は、本日公表の「2021年12月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,776,386	21,784,692
受取手形及び売掛金	1,185,487	1,214,134
たな卸資産	1,774,274	1,748,910
オークション貸勘定	4,253,161	4,638,427
その他	1,935,683	1,974,684
貸倒引当金	△126,899	△60,360
流動資産合計	25,798,093	31,300,489
固定資産		
有形固定資産	1,575,973	1,652,321
無形固定資産		
のれん	790,350	730,374
その他	1,250,362	1,055,301
無形固定資産合計	2,040,713	1,785,676
投資その他の資産	3,866,043	3,403,895
固定資産合計	7,482,729	6,841,892
資産合計	33,280,823	38,142,382
負債の部		
流動負債		
買掛金	827,655	791,886
オークション借勘定	7,032,946	9,640,739
未払法人税等	1,032,073	1,256,776
その他の引当金	187,203	322,287
その他	1,586,028	1,288,782
流動負債合計	10,665,908	13,300,471
固定負債		
退職給付に係る負債	1,744,261	1,754,079
株式給付引当金	124,282	133,324
その他の引当金	20,508	9,895
その他	1,088,177	988,659
固定負債合計	2,977,229	2,885,959
負債合計	13,643,137	16,186,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,765,614	1,799,358
資本剰余金	6,815,614	6,849,359
利益剰余金	10,742,310	12,819,305
自己株式	△241,056	△229,927
株主資本合計	19,082,483	21,238,095
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216,400	354,609
為替換算調整勘定	△5,002	△7,725
退職給付に係る調整累計額	30,333	26,895
その他の包括利益累計額合計	241,731	373,780
非支配株主持分	313,471	344,075
純資産合計	19,637,686	21,955,951
負債純資産合計	33,280,823	38,142,382

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	10,416,552	18,611,426
売上原価	4,518,885	9,794,639
売上総利益	5,897,666	8,816,786
販売費及び一般管理費	4,128,724	5,300,868
営業利益	1,768,942	3,515,918
営業外収益		
受取利息	34,886	2,559
受取配当金	34,032	33,644
為替差益	—	155,807
貸倒引当金戻入額	3,943	30,715
その他	14,862	31,848
営業外収益合計	87,725	254,574
営業外費用		
支払利息	475	599
為替差損	26,549	—
持分法による投資損失	8,337	18,469
貸倒引当金繰入額	18,234	—
保険解約損	—	25,548
その他	42	7,023
営業外費用合計	53,639	51,641
経常利益	1,803,028	3,718,852
特別利益		
投資有価証券売却益	—	90,338
その他	—	15,943
特別利益合計	—	106,282
特別損失		
固定資産除売却損	—	8,002
債権譲渡損	—	30,218
関係会社株式評価損	8,676	—
その他	—	161
特別損失合計	8,676	38,382
税金等調整前四半期純利益	1,794,351	3,786,752
法人税等	717,244	1,372,657
四半期純利益	1,077,107	2,414,095
非支配株主に帰属する四半期純利益	17,580	30,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,059,526	2,383,490

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
四半期純利益	1,077,107	2,414,095
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△60,629	138,208
為替換算調整勘定	△6,103	△2,722
退職給付に係る調整額	△5,061	△3,437
その他の包括利益合計	△71,794	132,048
四半期包括利益	1,005,312	2,546,144
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	987,731	2,515,539
非支配株主に係る四半期包括利益	17,580	30,604

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,794,351	3,786,752
減価償却費	371,983	372,198
のれん償却額	—	59,976
貸倒引当金の増減額(△は減少)	35,470	△57,385
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	28,377	4,860
株式給付引当金の増減額(△は減少)	20,661	9,042
その他の引当金の増減額(△は減少)	74,841	128,368
受取利息及び受取配当金	△68,919	△36,203
支払利息	475	599
持分法による投資損益(△は益)	8,337	18,469
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△90,338
関係会社株式評価損	8,676	—
売上債権の増減額(△は増加)	△55,269	△11,299
オークション貸勘定の増減額(△は増加)	71,449	△385,266
たな卸資産の増減額(△は増加)	194,304	30,348
仕入債務の増減額(△は減少)	53,625	△37,799
オークション借勘定の増減額(△は減少)	440,563	2,607,793
固定資産除却損	—	8,002
その他	△196,801	△320,123
小計	2,782,128	6,087,996
利息及び配当金の受取額	68,569	42,307
利息の支払額	△315	△2,388
法人税等の支払額	△541,794	△1,096,065
法人税等の還付額	40,002	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,348,591	5,031,849
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△340,000	△410,000
定期預金の払戻による収入	290,000	380,000
有形固定資産の取得による支出	△67,080	△200,949
無形固定資産の取得による支出	△264,704	△112,544
投資有価証券の売却による収入	—	577,024
敷金・保証金の返還による収入	99,894	73,258
保険積立金の解約による収入	—	60,812
その他	△48,014	△85,035
投資活動によるキャッシュ・フロー	△329,905	282,565
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△360,944	△306,365
その他	△1,598	2,018
財務活動によるキャッシュ・フロー	△362,542	△304,346
現金及び現金同等物に係る換算差額	26,398	△31,761
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,682,541	4,978,306
現金及び現金同等物の期首残高	13,761,608	15,766,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,444,150	20,744,692

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	5,643,190	2,953,309	593,118	9,189,618	1,226,933	10,416,552	—	10,416,552
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	77,246	—	—	77,246	249,272	326,519	△326,519	—
計	5,720,437	2,953,309	593,118	9,266,865	1,476,206	10,743,072	△326,519	10,416,552
セグメント利益又 は損失(△)	1,674,727	1,223,282	240,531	3,138,540	△184,961	2,953,579	△1,184,636	1,768,942

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,184,636千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	四輪事業	デジタル プロダクツ 事業	コンシュー マープロダ クツ事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	6,128,916	3,923,776	6,916,818	16,969,511	1,641,914	18,611,426	—	18,611,426
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	65,406	—	—	65,406	198,173	263,579	△263,579	—
計	6,194,323	3,923,776	6,916,818	17,034,918	1,840,087	18,875,005	△263,579	18,611,426
セグメント利益又 は損失(△)	1,967,181	2,230,328	649,884	4,847,395	△86,627	4,760,767	△1,244,848	3,515,918

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、中古バイク及び花きのオークション、医療関連事業及び海外事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,244,848千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用で、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

前連結会計年度より、ブランド品オークション等の事業規模拡大に伴いセグメントを変更しております。従来、ブランド品、中古バイク及び花きのオークション事業で構成されていた「その他情報流通事業」セグメントを廃止し、ブランド品オークション事業を新設の「コンシューマープロダクツ事業」セグメントに、中古バイク及び花きのオークション事業を従来の「その他」セグメントに集約しています。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度に開示した第2四半期連結累計期間に係る報告セグメントとの間に相違があります。